



日本製鉄 「紀尾井ホール」をリニューアル ～音楽文化支援を積極推進～

日本製鉄株式会社（以下、日本製鉄）は、音楽文化支援の拠点である「紀尾井ホール」の大規模リニューアルに向け、本格検討を開始しました。

○「紀尾井ホール」の概要

所在地：東京都千代田区紀尾井町6番5号

建物概要：地上7階、地下2階

洋楽ホール 800席

邦楽ホール 250席



紀尾井ホール

○リニューアルの概要（予定）

投資額：100億円程度

内容：舞台設備更新、客席更新、バリアフリー対策など
施設・設備等のリニューアル

休館期間：2025年8月～2026年12月

運営再開：2027年1月



洋楽ホール

日本製鉄は、1955年から2005年まで広く親しまれたラジオ番組「新日鉄コンサート」の提供や1990年に創設した「日本製鉄音楽賞」、1994年に音楽家の育成・優れた音楽活動の支援等を目的に設立された公益財団法人日本製鉄文化財団への支援活動等を通じ、継続して音楽文化支援に積極的に取り組んでいます。こうした取り組みは、公益社団法人企業メセナ協議会のメセナアワード2004運営創造賞の受賞や、同評議会が2014年に創設したメセナ活動認定制度に累計14件選出されるなどの評価を受けています。

「紀尾井ホール」は、旧新日鉄創立20周年を記念し、音楽文化支援の拠点として建設、1995年に開館しました。利便性の高い都内一等地に立地し、クラシック音楽で特に室内楽に最適な洋楽専用ホールと、日本伝統音楽の演奏に適した邦楽専用ホールを有しています。洋楽専用ホールは、「シューボックス形式」を採用し、適切な座席数（800席）とすることで、全ての座席で最高の音楽を味わうことができる仕様となっています。「紀尾井ホール」のレジデントオーケストラである「紀尾井ホール室内管弦楽団」による公演や、若手を含む国内外の幅広い音楽家による公演が開催されており、1995年の開館以降、洋楽・邦楽ホール合わせて395万人のお客様にご来場いただいています。こまやかな配慮がなされた質の高いコンサートホールとして、国内外の音楽家や多くのファンから高い評価を得ています。

日本製鉄は、この「紀尾井ホール」を開館から30年を機に大規模リニューアルし、日本製鉄が掲げる「地域・社会との共生」の核である音楽文化支援を、今後も積極的に推進していきます。

以上

お問い合わせ先：総務部広報センター

03-6867-2135、2146、2977、3419

Make Our Earth Green



NIPPON STEEL
Green Transformation
initiative